

令和4年4月版 ガイドラインの主な変更内容

変更内容	掲載ページ
1. 令和2年度中に、総合評価落札方式適用額が、設計金額3,500万円以上に変更となったことを反映	P7
2. 令和2年度中に、お問い合わせをいただいた内容に対する解釈（千葉市総合評価落札方式ガイドラインの運用・解釈に関するQ&Aに掲載の件を含む）を追記	
工事途中における主任（監理）技術者の変更において、ペナルティの対象とならない事例として、「受注者の責めによらない理由による工事の一時中止により、主任（監理）技術者を変更する場合」を追記	P21～22
施工計画（簡易型）、技術提案（標準型）、技術提案に係る施工計画（標準型）の欠格要件のうち、企業名が特定できる記載がある場合の対応及び具体例を記載	P27、P111、P120、P124
災害活動の1回の考え方について、また、年度をまたぐ場合の取り扱いについて記載	P60
評価の対象外となるボランティア活動に、参加者自身の訓練を目的とした防災訓練を追記。	P62
配置予定技術者の工事成績評定の実績及び同種工事の経験において、余裕期間制度による実工期が設定された工事の場合の取扱いを明記	P71、P130
選択できる技術者の資格に「1級電気通信工事施工管理技士」「2級電気通信工事施工管理技士」を追加	P76
3. 総合評価落札方式運用支援システムの改修及び追加機能の操作説明を追記	
基礎点制度申請は、各年度1回であることの説明。 そのため、同じ内容で2回目の申請をしようとした場合には、エラーメッセージが出て、申請ができない仕組みとしました。	P9、P10、P46 P65～66、 P92
「企業」基礎点制度を申請した際、「技術者」基礎点制度を申請した際、技術提案書を提出した際に、申請・提出を受理した旨のメールが届くようになりました。	P49、P65～ 66、P68、P92 ～93、P142 ～143
前年度案件と今年度案件が重複する期間の、「企業」基礎点制度申請、「技術者」基礎点制度申請、「作成・申請状況」の画面の表示および操作について記載しました。	P48、P146
保存済みファイルを開いて確認することができるようになりました。 （「選択」「解除」「削除」「参照」についての説明を追記）	P43
安全活動の評価対象期間が公告日から5年間の活動であるため、また、期間外の基礎点申請は、申請できなくなりました。	P80、P88
「企業」基礎点制度申請書、「技術者」基礎点制度申請書について、作成・申請状況別の出力内容について記載しました。	P67、P94
「配置予定技術者の施工経験」において、現場代理人としての経験がある場合、令和3年度以降の公告では、所持資格に関する資料添付は不要とする旨を記載しました。	P130
技術提案書提出画面で、基礎点制度が未申請であっても、技術提案書は提出できますが、未申請であることに気づかず欠格になることを防ぐため、未入力チェック欄に、基礎点申請がされていない企業または技術者の番号が表示されるようになりました。	P142～144

令和4年4月版 ガイドラインの主な変更内容

変更内容	掲載ページ
4. 千葉市総合評価落札方式ガイドライン本文中の文言の修正 (R3. 7. 1)	
<p>施工計画（簡易型）の記載方法や、記載例の中で「詳細内容」と記載されているものを、実施要領書の文言に合わせ「詳細項目」に修正</p>	<p>P105、P109 P111、P113 P124、P174</p>
5. 千葉市総合評価落札方式ガイドライン本文中の文言の修正 (R3. 9. 1)	
<p>総合評価落札方式を適用しない場合の項目を追加（④を追加）</p>	<p>P7</p>
6. 千葉市総合評価落札方式ガイドラインの一部改定 (R3. 12. 21)	
<p>「ICT 活用工事等の取り組み状況」の評価内容を追加・修正</p>	<p>P6、P17 P135、P136</p>
7. 千葉市総合評価落札方式ガイドラインの改定 (R4. 4. 1)	
<p>システム共通事項のメニューの表示に「利用登録の内容」を追加 企業側においてシステムに登録されている企業及び技術者情報を確認 できる機能を追加しました。</p>	<p>P44</p>
<p>「災害等協力者名簿の登載」内容の変更 団体名及び協定名称を修正しました。</p>	<p>P56</p>